



信頼

「神を信頼してください。あなた方は、決して見捨てられることは、ないでしょう。」（MSP 1861年）

み摂理への信頼

み摂理は、父なる神が私たちを人間には分からない神秘的な方法で世話してくださる愛なのです。

その恵みは、すべてを通して、与えられています。恵みは、神の友情を知ったということであり、生きている人間として、神を感じているということです。

私たちの人生が神で深く満たされている時、私たちは、後ろを振り返ります。その時、み摂理が「母の胎内にいる時から」

（詩編 139）私たちの将来を、準備していたかを、悟るのです。

全人類は、自己実現し満たされます。そして、神のみ摂理に身を委ねる時、幸せを感じるのです。神は、すべてを心にかけておられ、被造物やご自分の子供たちの面倒を見られます。

「み摂理には、目的を果たす時の失敗は、決してありません。」（PO 1888年）

もし私たちが両創立者の最初の根や召命の源を探すなら、それは、神に信頼した深い体験、信頼、そして、すべてを神のみ手に委ねること以外の、なにものでもないことが分かります。この経験がなければ、教会におけるカリスマ的、預言的役割

は、理解できません。

彼らのように、イエスの神体験にしっかり根を下ろさなければなりません。それは、山上の説教をなさった神であり、対立の中に、貧しい人々の中に、傷ついた人々の中に、時のしるしの中にも現れるのです

「神に、全幅の、揺るぎない、そして限りない信頼を置いてください。神は、常にその不思議な業を、世の中の最も弱い人々のうちに行われるのです。」（PO 1853年）

み摂理に対する信頼は、両創立者の霊的姿勢に深く刻まれています。オルミエル師は、次のように述べています。「み摂理のおかげで、会は40年間、歩んでいます。」（PO 1879年）この姿勢は、現在に至るまで守護の天使の姉妹修道会の伝統のうちに生きています。175年過ぎた今も、「神は、その聖なるみ摂理で、私たちの生き方を導き、信仰の光という灯を、守ってくださっています。」（養成計画—カリスマ 2006年）

「神のみ摂理により派遣された私たちの全姉妹が、いろいろな場所で、一つの心で、愛にあふれて生活しているのを知るのは、とても嬉しいことです。」（MSP 1853年）

参照箇所：

- ・ マコ 4：35－41 「なぜ怖がるのか？」
- ・ イザ 43：1－7
「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」
- ・ 詩編 61（62）「神は、貧しい者の希望である。」

祈りと感謝

聖なるみ摂理への祈り（MSP）

おお聖なるみ摂理よ
私の未来は、あなたのもの
私への、あなたの計画を
すべて受け入れます。

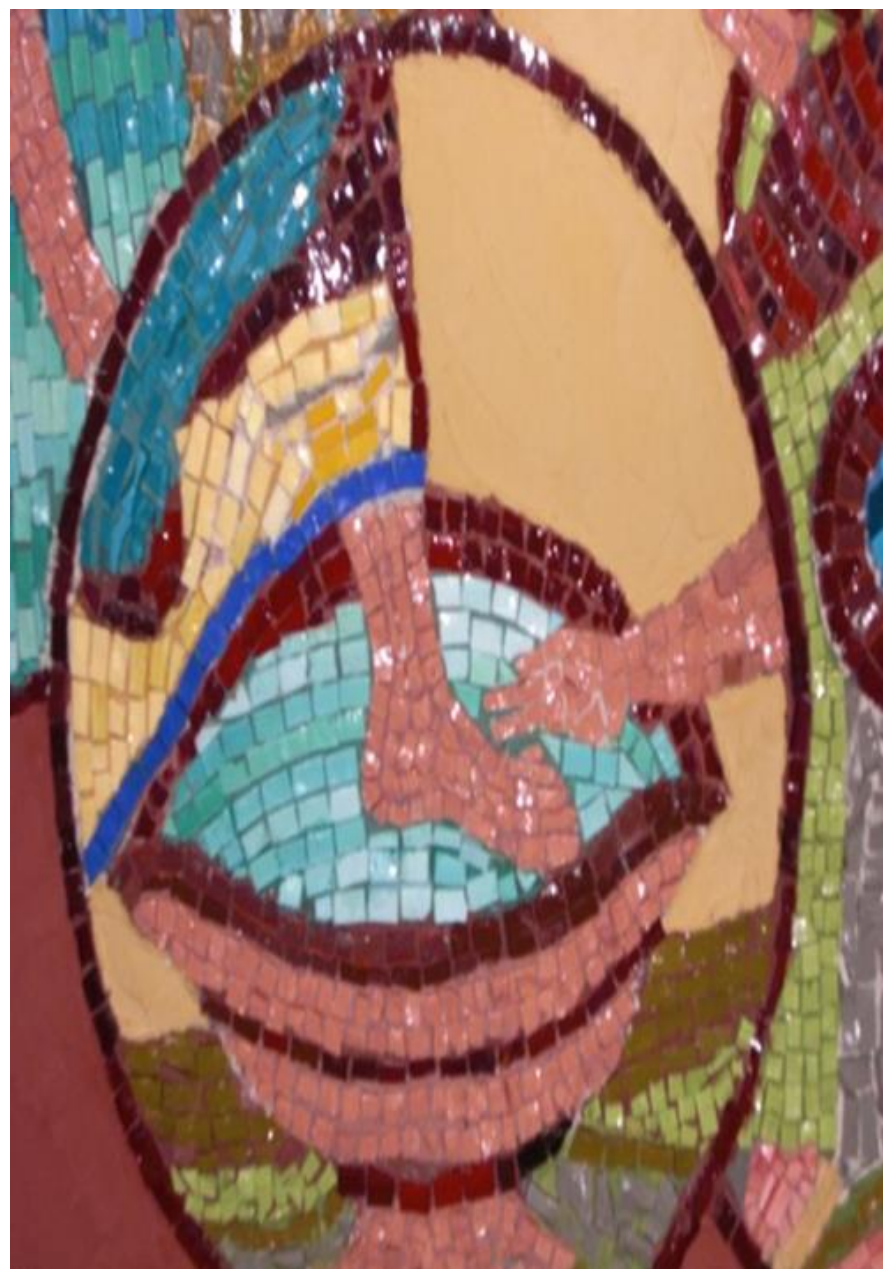
あなたを喜ばせることに
私が、従うことを、
あなたは、ご存知です。
これが、私の、紋章です：
み旨が、行われますように。

全ての父の中で最高の方、
あなたの腕に、身を委ねます
私一人では、何も出来ません
あなたの恵みが、
私を歩ませるのです。

私の唇が、フィアットとすることを
願います。明るいい心で、望みます。
喜びの時も、苦しみの時も、
常に、微笑みながら、願います。

私の望みは、
取るに足りないものです。
あなたのみ旨が、大切なのです。
生きていても死んでいても
あなたを喜ばせたい。私の望みは、
ただこれだけです。

私の聖なる御父の腕が、
貧しい私を光のほうへ、
引き上げてくださることを
切に、願っています。
アーメン



護ること

聖書には、人間に奉仕するために、天使が、どのように神により遣わされたのか、多くの個所で述べられています。「天使たちは皆、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになっている人々に仕えるために、遣わされたのです。」（ヘブ1：13-14）

聖書には、天使たちの様々な守護するやり方が、記されています

- 旅をする時、また道を歩んでいる時、導き、護る
出エ23：20 詩91：11 創世記24 トビ5-6, 12
- 誤った道を進んでいることを知らせる 民数22：31-32
また、正しい道を歩んでいることを、知らせる 使徒2：26
- 失意の時の助け 1列19：7
困難な時の励まし マタ4：11 ルカ22：43
- 癒しの助け トビ11
- 危険を知らせる マタ2：13
危険を回避させる ダニ3：59、68 詩編3：48 マタ
13：41
- 小さな人々を護る マタ18：10
- 拘束や束縛から逃れることを助ける 使徒5：19、12：7
- 神のみ旨を伝える ルカ1：11-19、1：30-33、2：10

天使という名称は、私たちのあり方のシンボルであり、プログラムである。この名称は、使徒職にも反映されなければならない。聖書に救いの使命を持って登場する天使のように、私たちもまた、神のみ旨を敏速に果たし、常に奉仕の姿勢を持ち、神のみ国を告げるために備えていなければならない。

(会則 10参照)

「天使は、よい便りの使者であり、歴史を人間味に溢れさせ、人間を導き、守り、保護する。」(会則 70参照)

私たちの両創立者は、この名称に、あるべき姿と他者を助けるというそのすべてを認めています

- ♥ 守護の天使という、この美しい名称は、私たちが、この世において天使になるための大きな励ましです。
- ♥ 神のみ旨を実行する敏速さ、そして私たちの働きを覆い尽くす聖なる熱意で、私たちは天使にならねばなりません。
- ♥ この美しい名称を掲げていることだけに満足しては、なりません。天使にならねばなりません.....
- ♥ この美しい名称は、たびたび私たちの黙想の材料になるでしょう。
- ♥ あなた方は、全てがよい意向を持つだけで成り立ってはいないことを、よくご存じです。天使という名称が、意味のない一つの言葉に過ぎないという人は、気の毒な人です。私たちの名前は、一日中、私たちに成すべきことを思い出させて

くれるでしょう。

- ♥ この素晴らしい名称が、あなた方に相応しいということ……そして、あなた方の献身に、私たちは信頼しています……あなた方は、ただ神の大いなる栄光だけを求めてください。

また、私たちにとって、心を配るということは、善に向かうということであり、神との交わりを助け、いかなる形においても、命を護り、擁護することです。すなわち：

- ♥ 私たちが、目に見える天使になることも、大切なことですが……私たちは、人々が罪を犯すことから守らなければなりません。彼らに、天国への道を、示さねばなりません。あなた方の生徒たちを、よく世話し、徳へと導いてください。(MSP 1853年)

- ♥ 健康に留意してください……私たちの御父が、あなた方を置いてくださったその場所で、働くためには、健康でいなければなりません。(MSP 1850年)

- ♥ 身体健康と情緒の均衡をはかるのに役立つ自然的方策を、おろそかにすべきではない。(会則 48参照)

- ♥ 苦しんでいる人、一人一人のうちに、キリストのあがないが続けられている。姉妹は、病人や高齢者を世話し助け、励まし、キリストのメッセージを伝え、主との決定的な出会いに誘う天使の役目を、果たさねばならない。(会則 74参照)

- ♥ 次の言葉に心に向けてください：
私たちが柔和であることは、まだ煙っているろうそくの芯を消してしまうような軽い、ひと吹き風の風が入り込むことはありません。私たちが宣べ伝えることを引き受けている正義の勝利を、確かにするために、その火は、決して消してはなりません。(PO 会の精神)

- ♥ 私たちには、御父の畑を耕す責任があります。何も実りがなくても、木を切ってはいけませんし、燃やしてもいけません。私たちの使命は、より時間をかけて、実が実るよう、働

くことです。（PO会の精神）

- ♥ 思いやりは、最も優れた避雷針です。私たちの姉妹、私たちの隣人を大切にしましょう。（MSP）

今日、私たちは、次のことを願います：（第23回総会）

- ✓ イエスとの出会いに助けとなること、つまり、具体的な靈性、証しとなる姉妹的生活この世の中で責任をとることを大切にする。
- ✓ 正義と平和に対し、正しい判断が出来る感覚を養うこと、地球環境の保護、持続可能な発展、利益の公平な分配、命に対する尊敬と擁護に対する教育。
- ✓ 神の優しさと憐みを伝える道になる。
- ✓ 最も傷つきやすい人々、弱い人々の世話をする。
- ✓ 地球環境の破壊に対し、その保全と維持のために積極的に働く。

**「天使は、あなたのために、何をしたのでしょうか？
同じことを、あなたもしてください。」（PO 1880年）**

